

# 平成20年度東北農政局長賞

## 『前田集落』 福島県相馬郡飯館村

### 【むらづくりの経緯・動機等】

若者の流出、高齢化による農業就労人口の減少に伴い、集落の就業構造が変化し、農業施設の維持管理や郷土芸能の伝承等、これまでの集落機能が低下していた。しかし、集落の基幹産業は農業であることから、米作依存を脱却し他農作物への転換を図るための検討を重ね、平成7年に村総合振興計画により将来目標を定め、地域住民自らが主体となった村づくりに着手した。

### 【位置】



### 【地区の概要】

前田集落

項目	内容	
規模	集落	(1集落)
性格	地縁的な集団	
農家率 (内訳)	総世帯数	80.4 % 56 戸
	農家数	45 戸
販売農家数 (内訳)	専業農家	45 戸 5 戸
	種農家	10 戸
	種農家	30 戸
主要作物 (作付面積)	水稻	35 ha
	葉たばこ	8.5 ha
	加工トマト	3 ha
	繁殖牛	58 頭
	乳牛	38 頭

### 【推進体制】

「自分たちの地域は自分たちの力で住みやすくする」を目的として集落の農家(45戸)、非農家(11戸)の全世帯(56戸)が加入し構成されており、集落営農、農地・水・環境保全活動、中山間地域等直接支払等の運営や事業活動に取り組んでいる。

### 【生産面への寄与状況】

平成18年に遊休農地化していた共同所有の牧草地の有効活用方策として「観光わらび園」を開設させ、地区内の遊休農地を6haまで減少させた。

認定農家を中心に集落営農組織「集落ぐるみ型」を実施し、稲作管理と経理の一元化を行っており、将来は法人化を目指している。また、2割減化学肥料の「エコ米」から現在は5割減らした「特別栽培米」として高付加価値化により収益の増加を目指している。



### 【生活・環境整備面への寄与状況】

農業用施設等については、非農家を含めた集落全員参加による草刈等の維持管理の取り組みを実施することにより、集落内施設の課題や問題点に対し、集落として対応措置を講じるなど予防対策に大きな成果が現れている。

直売所施設が、多品目の新鮮野菜の栽培や新規作物の導入へ繋がるとともに、交流拠点施設として交流人口増加へ寄与している。

また、老人会の有志により開始した「木炭き」は、地元中学校の体験学習に活用されたり、林地活用のモデル地区として「野生きのこ栽培」の取り組みを実施し、地域活性化に繋がっている。

